

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題  
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（平成30年度～令和4年度）
研究開発課題名	新メソッドによる薬用ニンジンの品質評価を軸とした伝統的栽培法 数値化と効率的生産法の開発
代表機関名	国立医薬品食品衛生研究所
研究開発代表者名	伊藤 美千穂

総合評価：良い

**【評価コメント】**

薬用ニンジンの栽培衰退の課題を解消するために、含有成分一斉分析法開発や効率的な生育法の検討を行い、栽培が困難とされてきた薬用ニンジンの栽培普及に向けた基盤となる成果を得た。特に、含有成分一斉分析法は、栽培や加工法の最適化検討に向けて有用な知見となると思われる。また、北海道蘭越町等での試験栽培を開始し、薬用ニンジン栽培が拡大することを期待する。

ただし、今回対象とした薬用ニンジンは通常4年以上の栽培期間を要するが、限られた研究期間であったため、探索的試験の範疇に留まっており、今回の研究成果を基礎に、土壌中の無機成分や菌叢の解析結果の活用、病害防除法を具現化し、薬用ニンジン栽培の効率的生産法の開発につなげていただきたい。そのためにも、今回の島根県での研究成果をベースに、長野県や福島県の薬用ニンジン栽培地及び試験栽培圃場の種々解析データと多角的に比較検討し、各産地に適合する薬用ニンジン栽培指針が作成されることを望む。さらに、生産者拡大に向けて、企業との連携を基に、薬用ニンジンの商品化も引き続き進められることを期待する。

以上